

## 5 調査等の手法の概略

### (1) 大気汚染

拡散式は、有風時はブルームモデル、弱風時はパフモデルにより予測した。

### (2) 騒音・振動

#### ア 工事の施行中（建設機械）

騒音：社団法人日本音響学会の建設工事騒音の予測モデルにより予測した。

振動：振動の距離減衰式により予測した。

#### イ 工事の完了後（自動車）

騒音：社団法人日本音響学会の道路交通の騒音の予測モデルにより予測した。

振動：道路交通振動予測式により予測した。

低周波音：低周波音圧レベル予測式により予測した。

### (3) 土壌汚染

形質変更時要届出区域と対象計画とを重ね合わせる方法により予測した。

### (4) 地形・地質

工事施工計画を基に、計画道路及びその周辺の地形を踏まえ、斜面等の安定性の変化の程度を定性的に予測した。

### (5) 生物・生態系

#### ア 生物

##### (ア) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度

現地調査で確認された植物相の状況及び植物群落の分布状況と、予測の対象時点における対象事業を重ね合わせることにより予測した。

##### (イ) 動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度

現地調査で確認された動物相の状況及び動物群集の生息状況と、予測の対象時点における対象事業を重ね合わせることにより予測した。

##### (ウ) 緑の量の変化の内容及びその程度

現地調査結果に基づく現存植生図と、対象事業を重ね合わせることにより、各植生単位の面積を算出する手法により予測した。緑の体積については、各植物群落の群落高をかけあわせることにより緑の量の変化の程度を把握して予測した。

#### イ 生態系

現地調査結果に基づく環境類型区分図と、対象事業を重ね合わせ、各類型区分を代表する生物種の生態を踏まえ、都市域生態系の変化の程度を予測した。

(6) 日影

冬至日の真太陽時による午前8時から午後4時までに生じる時刻別日影図及び等時間日影図を作成することにより予測した。

(7) 電波障害

地上デジタル放送については、電波障害予測計算式により、遮蔽障害及び反射障害の範囲を予測した。

衛星放送については、電波障害予測計算式により、遮蔽障害の範囲を予測した。

(8) 景観

現況の地域景観の特性に対して対象事業の種類及び規模を重ね合わせ、地域景観の特性の変化の程度を定性的に予測した。

計画地周辺を含めた現況写真に、計画構造物の完成予想図を重ね合わせて合成写真（フォトモンタージュ）を作成し、現況写真との比較を行うことにより、代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度を予測した。

(9) 史跡・文化財

埋蔵文化財包蔵地の分布図と対象計画とを重ね合わせる方法で実施した。

(10) 廃棄物

施工計画の内容に基づき、可能な範囲で定量的に推計する方法とした。